

Susono City



令和4年度

1月号

1月11日発行

“学びの森”だより

明けましておめでとうございます。晴天に恵まれ、穏やかな新年を迎えました。年頭にあって学校教育課 渡邊清課長よりごあいさつをいただきました。



明けましておめでとうございます。2023年、令和5年は「癸卯（みずのと・う）」の年であり、「これまでの努力が花開き、実り始めること」という意味を表しているそうです。皆様にとって、そのような年になるよう心から願っています。

さて、私は現在、行政でお世話になっていますが、学校の話聞くのが大好きです。そのいくつかを紹介します。

小学校2年生の体育の時間、グループをいろいろなもので分けていたところ、他にないかなと思った先生が、「AとかBとか血液型で分けてみようか」と言ったところ、多くの子どもたちは『ん？』の顔をしていました。すると、いつも積極的に授業に参加する頑張り屋の〇〇さんは「私、知っています。」と反応しました。先生は「〇〇さんは、自分の血液型を知っているの?」と聞くと、〇〇さんは「はい、私はC型です。」とはっきりと言い切りました。先生は、可笑しさもあったのですが、周りの子どもたちが真顔で『そーなんだ。』という反応だったのを見て、「まだ、知らない人がいるので、別のことで分けましょう。」としたそうです。〇〇さんを否定せず、笑うこともなく、周りの雰囲気を感じ、次につなげたのは見事だと思いました。

これも小学校の2年生の話です。2学期終業式の前日、同じ時間にそれぞれの学級でお楽しみ会（クリスマス会）を行ったそうです。学期の終わりには、そういう活動を計画する先生も多いと思います。今回のお楽しみ会では、これまでの経験を生かし、子どもたちが企画し、ゲームと出し物、司会進行など、一人1回は必ず出番があるようにしたそうです。私は聞いているだけで、わくわくする気持ちになりました。

まず、開会の言葉がありました。「ただいまより、令和4年クリスマス会を始めます。」すると、他の子どもたちは、普通に「お願いします。」と言って礼をしました。（集会みたいだなと笑ってしまいました。）子どもたちは、日頃の学校生活の中で、そのように返すことに何の違和感もなく、会が始まりました。日頃の学校生活において規律があることがわかります。ゲームでは、〇×ゲーム、まじかるバナナ、フルーツバスケットで楽しみました。子どもたちは知っている知識をフル稼働させてゲームに臨みます。〇×ゲームでは学校のネタもありました。後半の出し物では、なぞなぞ、ジェスチャーゲーム、人形劇がありました。出題や進行を間違えても、みんなが助けてくれるので安心です。人形劇では

ペープサートを割りばしで、ステージは段ボールで作ったものでした。なかなか手が入っていませんでした。担当は二人でしたが、ステージは周りの子どもが支えて持ってくれました。話はクリスマスに関わるものでした。閉会の言葉では、「みなさんはクリスマス会を楽しみましたか。みんなが楽しいと思ってくれたら、私は嬉しいです。これで令和4年クリスマス会を終わります。」(子どもたちは)「ありがとうございました。(礼)」(心温まるしっかりとした言葉に感心しました。)

こうして、楽しいひと時が終わりました。私は見ていなかったのですが、子どもたちが、目を輝かせて楽しく過ごしたことが伝わってきました。そして、自分たちでやり遂げたことに満足しただろうなと思いました。話は職員室でも話題になったことでしょう。

後で聞いたら、1年生の時から、こういう会の時は、子どもの力を最大限発揮させるようにしてきたそうです。もちろん困ったときは先生に相談したりするそうです。挨拶をする子はタブレットに言葉を打ち込んで、先生のところにきたそうです。

教科の授業だけでなく、こうした学級活動も、子どもの発達を踏まえて、子どもを主語にして語り、主体的に活動させることが大切だなと思いました。そのヒントは、幼稚園や保育園での遊びの中にも多くあります。中学校の先生にとっては小学校の様子を知ることが参考になります。自分の学級だけでなく、他の学級のことでも参考になるはずです。一方で、先生がシナリオを作り、全てを仕切るという話も聞きました。誰のために、何をするか。子どもたちに付けたい力は何なのか。ねらいを押さえると、先生は子どもに任せていいところが見えてくるのではないのでしょうか。

今年も子どもたちと共に学び、成長する先生方の健康と各校の益々の発展を願っております。令和5年もよろしくお願いたします。
学校教育課 渡邊 清



「若手教員育成担当協議会」

12月19日(月)、駿東地区二市二町の若手育成研修の担当者が集まり、各市町における状況と課題について意見交換しました。この会は、他市町での具体的な研修の進め方を伺い、来年度に役立てていきたいという学びの森の思いに協力が得られ、実現したものです。

より良い授業を共に作るため、これまで以上に学校と協力して進めていきたいと思っております。来年度に向けて動き始めています。



今年もよろしくお願
いたします

編集・発行：“学びの森”

〒410-1102 裾野市深良 435 番地

TEL : 055-995-4903

FAX : 055-995-4904

<http://www10.schoolweb.ne.jp/weblog/data/2240002>